

木下 洋介

株式会社 木下洋介構造計画代表



創造表現学会主催
講演会

構造設計者の役割 —技術をどう今の社会に着地させる?—

[開催場所] 8号棟5階 プレゼンテーションルーム
(入場無料/申込不要)

[開催日時] 2019. 12. 4 (水) 16:50~18:20 (90分)

講演内容:

建築の構造設計を行う際は、技術を使って「何をどう作るか」を設定することが大事になる。

この「何をどう作るか」に思いを巡らし、固有の構造を設計するプロセスを「構造デザイン」という。

今、社会が変化する中で、建築家の役割も変わり、構造デザインに求められるものは変わりつつある。

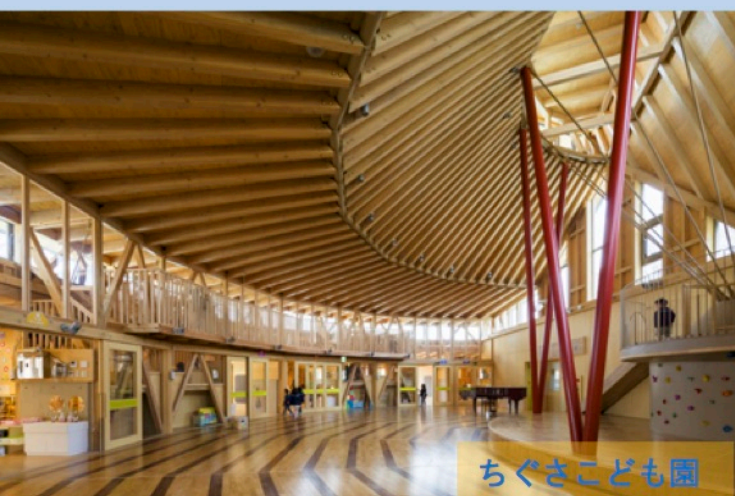
本講演ではそうした社会の変化のなかで、構造設計者として何を提案し、どう技術を社会に定着させているか、実物件による構造デザインの事例から紹介する。

事例: ①「木」を生かした異素材の使い方

②地方を生かすリノベーション

③小規模建物に生かす制振構造のデザイン

* 前半/講演会 (75分) ・ 後半/ディスカッション (15分)



ちぐさこども園



オーガルベース



坂の上テラス



天童市子育て未来館
げんキッズ